

今がチャンス! これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

今号発売日はGW真ただ中、思う存分船釣りを楽しめていますか? まだ何を釣りに行くか決まっていな人は、ぜひ今回のレポートを参考にしてください。



▲内房のコマセダイも本誌発売ごろはピークを迎えているはず

内房のコマセダイ好期

内房勝山港は四季折おりに多種多様なターゲットが狙える遊漁の一大拠点だ。数ある釣魚の中でも、この時期外せないのが乗っ込みのコマセダイ。今シーズンの模様はいかに? と4月14日に向かったのは勝山港の新盛丸。イカ船とマダイ船をメインに2隻体制で出船している船宿だ。

悪い日に来た!

当日は兄の艦居正悟船長が舵を握り、弟の克芳船長が仲乗り役の兄弟船で、8人の釣り人を乗せて出船した。釣り場の富浦沖へは航程30分ほどで到着。通称横瀬と呼ばれるポイントの水深65メートル、タナは海面から45メートルで釣り開始となった。航行中、克芳船長からハリスの長さについて「俺がやるなら13〜15メートル」と聞いていた。

知得! 高速代の節約術

勝山港へは東京西部や神奈川方面からの場合、アクアライン〜館山道「鋸南富山」IC経由で向かう方がほとんどかと思う。確かにそれが最短ではあるが、アクアラインを「木更津金田」ICで降りてR127を使う下道ルートだと片道1550円(深夜は1090円)節約できる。ICを降りてしばらくは信号機も多いが、それを過ぎれば快適に走れ、所要時間も高速利用時と比べ20分ほどしか変わらない。帰路もこのルートを使えば往復3100円の節約。なんでも値上げのこのご時世に、この差は大きいですね。▶たまには下道で釣行してみませんか?

「反応は沈黙。タイが浮いてこないのか?」と思い、2Bのガン玉を先バリ40センチ上に打ってみたりもしたが状況は変わらず、付けエサもほとんど取られない。船長は細かく流し変えながら3時間近く粘ったが、一向

に好転しないのを見て移動を告げる。北に向け少々走った場所は、内房マダイの名ポイント象背根だ。これまでがこれまでだっただけに「悪い日に来ちゃったかな」とマイナス思考が頭を占め始めていたが、一投目からそんな気分が吹き飛

本番か? と今後の模様について克芳船長に聞くと、「それが分かれば苦労はしないですよ(笑)。でもまあ正直まだ本調子ではないですね。今日なんか反応の割に食いが渋く、長いハリスが有効だったみたいだし。本調子になればタイも上ずってきて、短めのハリスでもバンバン食うようになるんですけど」とのこと。

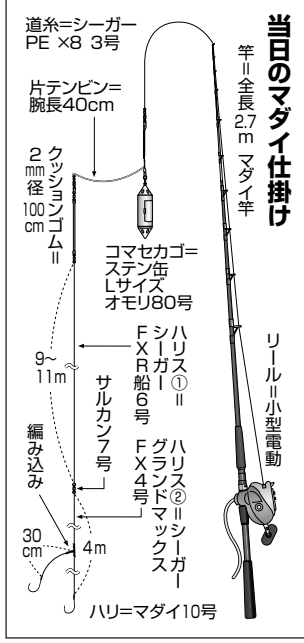


▶落ち着いて取り込みまで持っていきたい

ぶ、左舷のミヨシとトモでダブルヒットだ! 間にいる私にはなぜアタらない? の気持ちはさておき、カメラを持って駆け付ける。お2人もマダイ竿を気持ちよく曲げてのヤリトリで、ミヨシの小田さんが1.5キロ級、トモの星さんが1キロ級を無事に取り込んだ。

•Tackle Guide

ハリスの話になると強度や太さばかりが目されるが、ことマダイ釣りにおいては「しなやかさ」とか言われるが、見える見えないの視認性よりもハリスが太い(張りが強すぎる)とエサの動きが不自然になる、がその理由だと思っている。



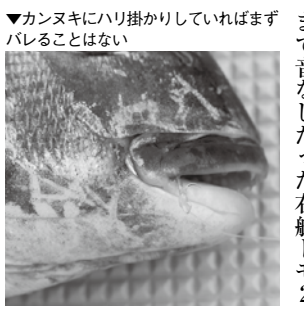
手島さんに仕掛けの長さを聞くと15メートル。ちなみに小田さん13メートル、星さん15メートルというから、私の仕掛けもそうは外していないはず。「次は自分!」と自席に戻り気合を入れ直した。

うれしい1枚をゲット

5分のインターバルで仕掛けを入れ替えること数回、竿を頭上高く持ち上げてからゆっくりと下げていき、竿先を海面下に没する位置までの誘い下げ。その後、再度ゆっくり誘い上げていくと竿先がストン! と入った。が、これはスッポ抜ける。

船長に一部始終を見られていて格好悪いのなんの。名譽挽回の機会をうかがうこと1時間少々、置き竿にしていた竿がスコーンと気持ちよく引き込まれた。

一呼吸置いて竿を手に取り



▼カンヌキにハリ掛かりしていればまずバレることはない

番の山本さんのショートロッドが大きく曲がった。コマセダイの経験が浅いという山本さんに対し「もつと竿を立てたほうがいいですよ」ドラッグ設定はできてるから、後は時間をかけてゆっくり巻いてくれば取れるから」と克芳船長から連続してアドバイスが飛ぶ。

そのおかげか意外なほどスンナリと上がってきたが、海中に見える白い影はけっこうデカイ! 無事タモ取りされたのは下船後検量で3キロロジヤストの良型マダイだった。そしてラストを飾ったのは、やはりこれまで蚊帳の外だった右舷ミヨシ2番の桜井さん。「この流しで揚がります」のコール直後に竿を曲げ2.5キロのキレイなマダイを仕留めた。

この日は8人中6人がタイの顔を見た。残念だったお2方もうまい具合? にワラサを釣っており、全員が満足笑顔での帰港となった。

竿頭は手島さんで、1.5キロ、2キロとサイズアップを重ねて都合4枚はお見事。釣れ上がったタイは、乗っ込みを思わせる黒ずんだものもあればキレイな魚体もいた。前日には7キロオーバーも釣られており、そろそろ乗っ込み

●船宿information

内房勝山港
新盛丸
☎090-6086-3239
(詳細は巻末の情報欄参照)

船長 船長

▶料金=コマセダイ乗合 一人1万2000円(コマセ、氷付き)
▶備考=予約乗合、4時半集合。午後マダイやファミリーフィッシングへも出船

●かすかわ あきら/今号より書かせていただくことになりました。日本一ねじり鉢巻の似合うサラリーマン、なんて言っていた時期もありましたが、サラリーマンを卒業してウソ年のジジイです。これからよろしくお願ひします!